

事務事業評価シート

事務事業コード	006700	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	食育推進事業		所属名	健康子ども部 中央保健センター

1. 基本情報

位置づけ の 体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分	
	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	全期	
	03	住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	食育基本法 健康増進法	
1301	健康づくり、疾病予防の推進					
目標の 実施の 目標	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	胃・肺・大腸がん検診受診率		57%	50%		
	子宮・乳がん検診受診率		57%	50%	運営方法	外部委託
	特定健康診査(国保)受診率		32.7%	60%	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	食育推進事業費		予算事業コード	01-04-01-02-07-01	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市民
意図 (どのような状態 にするために)	増加する生活習慣病を予防するために、最も重要である食生活の改善を広く普及するため、食育推進員を養成し、伝達講習会を通して市民の健康づくりにつなげる。
手段 (どうするのか)	食育推進員の養成および育成と食育推進員による地区伝達講習会を実施する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 ①食育推進員養成講座の実施 ②地域における伝達講習会の実施	平成29年度 ①食育推進員養成講座の実施 ②地域における伝達講習会の実施	平成30年度 ①食育推進員養成講座の実施 ②地域における伝達講習会の実施	平成31年度 ①食育推進員養成講座の実施 ②地域における伝達講習会の実施	平成32年度 ①食育推進員養成講座の実施 ②地域における伝達講習会の実施	
	年度別実績	①食育推進員養成講座の実施 2クール ②地域における伝達講習会の実施 321回					
	事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
事業費	事業費(A+B)	3,481	0	0	0	0	
	直接経費 A	3,481	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	3,481	0	0	0	0		

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
		伝達講習会開催数	回	目標	400	400	400	400	400	
				実績	321	0	0	0	0	
	(指標の説明) 食育推進員が各地区で実施をした伝達講習会の回数									
	2	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
		食育推進員養成講座受講者数	人	目標	40	40	40	40	40	
			実績	25	0	0	0	0		
(指標の説明) 食育推進員養成講座の受講人数										
3	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
			目標	0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 食育推進係 0857-20-3192</p> <p>【10次総の施策体系】 1301</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P96（健021）</p> <p>【事業の概要】 食生活の多様化に伴い、生活習慣病が増加しつづけている。生活習慣病予防のための知識を習得し、家族、地域の食生活の改善をはじめ、食育の実践を推進するため、食育推進員養成講座を実施。養成講座修了生で組織される鳥取市食育推進員会に、地域における食育推進地区活動事業を委託し実施している。各地区単位で講話・調理実習を行う伝達講習等を通して、健康的な食生活を啓発する。</p>																			
	<p>【事業の成果】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">平成26年度</th> <th style="text-align: center;">平成27年度</th> <th style="text-align: center;">平成28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・食育推進員養成講座</td> <td style="text-align: center;">8回シリーズを 1会場2グループ</td> <td style="text-align: center;">8回シリーズを 1会場2グループ</td> <td style="text-align: center;">8回シリーズを 1会場2グループ</td> </tr> <tr> <td>・養成講座修了者数</td> <td style="text-align: center;">26人</td> <td style="text-align: center;">29人</td> <td style="text-align: center;">24人</td> </tr> <tr> <td>・地区伝達講習会</td> <td style="text-align: center;">314回</td> <td style="text-align: center;">326回</td> <td style="text-align: center;">321回</td> </tr> <tr> <td>・決算額</td> <td style="text-align: center;">3,658千円</td> <td style="text-align: center;">3,478千円</td> <td style="text-align: center;">3,481千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>*委託先：鳥取市食育推進員会</p> <p>【今後の課題・方向性】 食育推進員を養成し、推進員への確かな知識の普及をはじめ、活動支援を継続して行うことにより、市民の健康的な食生活の定着につなげていく。</p>		平成26年度	平成27年度	平成28年度	・食育推進員養成講座	8回シリーズを 1会場2グループ	8回シリーズを 1会場2グループ	8回シリーズを 1会場2グループ	・養成講座修了者数	26人	29人	24人	・地区伝達講習会	314回	326回	321回	・決算額	3,658千円	3,478千円
	平成26年度	平成27年度	平成28年度																	
・食育推進員養成講座	8回シリーズを 1会場2グループ	8回シリーズを 1会場2グループ	8回シリーズを 1会場2グループ																	
・養成講座修了者数	26人	29人	24人																	
・地区伝達講習会	314回	326回	321回																	
・決算額	3,658千円	3,478千円	3,481千円																	

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	伝達講習会開催数	80%				
	2	食育推進員養成講座受講者数	63%	63%			
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p><small>【事業実績】タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	市の健康課題にあったテーマを設定し、伝達講習会を実施することで食生活改善を広く普及し、疾病予防につなげている。
<p>事業の成果</p> <p><small>【指標】タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	推進員は在住地区での伝達講習会に重点をおき活動をしているが、会員の就労や高齢化により課題もある。また養成講座会場を中央の1会場としていることによる、新市からの参加のしづらさも考えられる。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>ライフスタイルの変化や「食」の多様化に伴い、生活習慣病の増加や「食」に関する情報が多い中、食育推進員の養成を行い、確かな知識の普及につなげる。また、市の健康課題を最優先にした推進員の活動が円滑に実施できるような積極的に支援をし、市民に継続して啓発に取り組むことで疾病予防につなげる。</p>	

事務事業評価シート

事務事業コード	006800	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	成人栄養改善事業		所属名	健康こども部 中央保健センター

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称	事業区分名称	区分	
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち	事業期間	全期	
	政策	03	住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり	根拠法令、根拠計画等	健康増進法 食育基本法	
	施策	1301	健康づくり、疾病予防の推進			
施策の目標	目標の種別		平成28年度	平成32年度		
	胃・肺・大腸がん検診受診率		57%	50%	事業分類区分	ソフト(任意)
	子宮・乳がん検診受診率		57%	50%	運営方法	直営
	特定健康診査(国保)受診率		32.7%	60%	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	成人栄養改善事業費		予算事業コード	01-04-01-02-07-02	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市民(成人)
意図 (どのような状態にするために)	市民の健康づくりおよび生活習慣病の重症化予防を重点にした栄養改善事業の実施により、健康的な食習慣の定着を推進し、健康寿命の延伸を図る。
手段 (どうするのか)	健康的な食習慣を身につけるための栄養改善事業を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内容	年度別計画	①糖尿病食生活教室 ②糖尿病食生活教室フ オロー教室 ③適塩教室	①糖尿病食生活教室 ②糖尿病食生活教室フ オロー教室 ③適塩教室	①糖尿病食生活教室 ②糖尿病食生活教室フ オロー教室 ③適塩教室	①糖尿病食生活教室 ②糖尿病食生活教室フ オロー教室 ③適塩教室	①糖尿病食生活教室 ②糖尿病食生活教室フ オロー教室 ③適塩教室	
	年度別実績	①糖尿病食生活教室 2回シリーズ×2 ②糖尿病食生活教室フ オロー教室 1回 ③適塩教室 2回					
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	499	0	0	0	0	
	直接経費 A	499	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	499	0	0	0	0		

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
活動指標	1	糖尿病食生活教室参加者増	人	目標	40	40	40	40	40	
				実績	36	0	0	0	0	
	(指標の説明) 糖尿病食生活教室の参加者の人数。基準値は講座の定員。									
	2	適塩講座参加者満足度	%	目標	90	90	90	90	90	
				実績	86	0	0	0	0	
	(指標の説明) 適塩講座参加後アンケートで「参考になった」と回答した割合。基準値はH27年度を参考。									
3				目標	0	0	0	0	0	
				実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	【問合せ先】 食育推進係 0857-20-3192
	【10次総の施策体系】 1301
	【予算計上の経過】 なし
	【事業の概要】 糖尿病や高血圧等の生活習慣病の増加に伴い、平成18年度より糖尿病食生活教室、平成27年度より糖尿病食生活教室フォロー教室、平成22年度より減塩教室(適塩講座)を開催。
	【事業の成果】

	決算額	栄養セミナー	糖尿病食生活教室	糖尿病食生活フォロー教室	減塩教室
平成26年度	440千円	3回シリーズを1クール	4回シリーズを2クール	未実施	2回
平成27年度	446千円	未実施	2回シリーズを2クール	1回	2回
平成28年度	500千円	未実施	2回シリーズを2クール	1回	2回

【今後の課題・方向性】 生活習慣病の発症予防および重症化予防につなげるため、継続して実施する。
--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	糖尿病食生活教室参加者増	90%				
	2	適塩講座参加者満足度	96%	96%			
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	年度当初より計画を立て、市民への周知をし、予定の回数の開催をした。
事業の成果 <small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	おおむね目標値どおりに実施できたが、大雪や、積雪による交通事情により日程延期をしたことで予定参加者減となった。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>	生活習慣病の発症予防および重症化予防につなげるため、継続して実施する必要がある。	

事務事業評価シート

事務事業コード	006900	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	母子栄養改善事業		所属名	健康こども部 中央保健センター

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称	事業区分名称	区分	
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち	事業期間	平成18年度 ～ 全期	
	政策	03	住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり	根拠法令、根拠計画等	食育基本法 母子保健法	
施策	1301	健康づくり、疾病予防の推進				
施策の目標	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	
	胃・肺・大腸がん検診受診率		57%	50%		ソフト(任意)
	子宮・乳がん検診受診率		57%	50%	運営方法	直営
	特定健康診査(国保)受診率		32.7%	60%	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	母子栄養改善事業費		予算事業コード	01-04-01-02-07-03	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	乳幼児期から思春期までの子及びその保護者
意図 (どのような状態にするために)	生涯健康でありつづける為に必要な知識や技術を習得し、幼児期からの健康的な食生活を身につけ、生活習慣病予防につなげる。
手段 (どうするのか)	講話及び調理実習、参加型体験学習

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 ①食育教室の開催	平成29年度 ①食育教室の開催	平成30年度 ①食育教室の開催	平成31年度 ①食育教室の開催	平成32年度 ①食育教室の開催
	年度別実績	①食育教室の開催 75回				
	事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
事業費	直接経費 A	865	0	0	0	0
	直接経費の財源内訳					
	国・県	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	865	0	0	0	0

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
		食育教室参加者数	人	目標	1750	1750	1750	1750	1750	
		(指標の説明) 食育教室の参加者人数		実績	1765	0	0	0	0	
	2				目標	0	0	0	0	0
					実績	0	0	0	0	0
		(指標の説明)								
	3				目標	0	0	0	0	0
					実績	0	0	0	0	0
		(指標の説明)								

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 食育推進係 0857-20-3192</p> <p>【10次総の施策体系】 1301</p> <p>【予算上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P96（健022）</p> <p>【事業の概要】 乳幼児期の食のあり方は、健康的な食習慣を定着させる大切な時期であるが、保護者の育児不安の要因の一つにもなっている。そのため、従来より乳児期を対象に実施している「離乳食講習会」に加え、平成18年度より幼児期を対象とした「食育教室」を実施している。また、平成27年度は、新規に、栄養士による離乳食の調理状況を収録したDVDを作製することで、離乳食作りが初めての保護者や、就労等により受講が困難な方への貸出を開始できるようにした。</p> <p>【事業の成果】 乳幼児期から健康的な食習慣を身につけ、健やかな心と体の成長を促すと共に、保護者の不安軽減につながった。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">平成26年度</td> <td style="text-align: center;">平成27年度</td> <td style="text-align: center;">平成28年度</td> </tr> <tr> <td>・決算額</td> <td style="text-align: right;">959千円</td> <td style="text-align: right;">1,402千円</td> <td style="text-align: right;">865千円</td> </tr> <tr> <td>・離乳食講習会</td> <td style="text-align: right;">42回</td> <td style="text-align: right;">43回</td> <td style="text-align: right;">42回</td> </tr> <tr> <td>・食育教室</td> <td style="text-align: right;">84回</td> <td style="text-align: right;">71回</td> <td style="text-align: right;">75回</td> </tr> <tr> <td>・DVD貸出回数</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: right;">226回</td> </tr> </table> <p>【今後の課題・方向性】 生涯の健康維持には、乳幼児期からの健康的な食習慣の定着が必要である。引き続き、健全な食生活が実践できるよう対象者に合わせた支援をしていく。</p>		平成26年度	平成27年度	平成28年度	・決算額	959千円	1,402千円	865千円	・離乳食講習会	42回	43回	42回	・食育教室	84回	71回	75回	・DVD貸出回数			226回
		平成26年度	平成27年度	平成28年度																	
・決算額	959千円	1,402千円	865千円																		
・離乳食講習会	42回	43回	42回																		
・食育教室	84回	71回	75回																		
・DVD貸出回数			226回																		

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	食育教室参加者数	101%				
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p><small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
<p>事業の成果</p> <p><small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small></p>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	食育推進関係各課や公民館等と連携をすることで対象者の拡大につながった。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
		<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>心身の機能の発達著しい乳幼児期から、食に関する知識の習得や、体験をすることで生涯にわたる健全な心身と豊かな人間性を育む基礎となる事業として今後も充実を図る。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	007000	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	健康教育・健康相談・訪問指導事業		所属名	健康こども部 中央保健センター

1. 基本情報

位置づけ の 目標	体系区分	コード	名称	事業区分名称	区分	
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち	事業期間	昭和58年度 ~ 全期	
	政策	03	住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり	根拠法令、 根拠計画等		
施策	1301	健康づくり、疾病予防の推進				
目標の 実施の 目標	目標の種別		平成28年度	平成32年度		
	胃・肺・大腸がん検診受診率		57%	50%	事業分類区分	ソフト(義務)
	子宮・乳がん検診受診率		57%	50%	運営方法	直営
	特定健康診査(国保)受診率		32.7%	60%	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	健康教育・健康相談・訪問指導事業費		予算事業コード	01-04-01-02-05-09	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	原則として、鳥取市に居住地を有する40歳から64歳までの者。
意図 (どのような状態 にするために)	がんや糖尿病などの生活習慣病の発症と重症化を予防し、市民の健康寿命の延伸を図る。
手段 (どうするか)	がんや生活習慣病についての正しい知識の普及啓発及びがん検診や健康診査の受診につながる意識啓発。 健診結果に基づく相談体制、保健指導の充実。 糖尿病等生活習慣病の発症及び重症化予防のため重点的な取り組みを行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
		①健康教育の実施 ②健康相談・保健指導の実施(成人コーナーでの来所相談、地域での相談、電話相談など) ③訪問指導の実施	①健康教育の実施 ②健康相談・保健指導の実施(成人コーナーでの来所相談、地域での相談、電話相談など) ③訪問指導の実施	①健康教育の実施 ②健康相談・保健指導の実施(成人コーナーでの来所相談、地域での相談、電話相談など) ③訪問指導の実施	①健康教育の実施 ②健康相談・保健指導の実施(成人コーナーでの来所相談、地域での相談、電話相談など) ③訪問指導の実施	①健康教育の実施 ②健康相談・保健指導の実施(成人コーナーでの来所相談、地域での相談、電話相談など) ③訪問指導の実施
事業費	年度別実績	①健康教育の実施回数:260件 ②健康相談件数(延べ):5051件 ③訪問指導件数(延べ):463件				
		区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
	事業費(A+B)	8,692	0	0	0	0
	直接経費 A	8,692	0	0	0	0
	直接経費の財源内訳					
	国・県	665	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	8,027	0	0	0	0

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
				1	生活習慣病予防訪問指導延件数	人	目標	800
	(指標の説明)		実績	463	0	0	0	0
2	健康教育実施回数	回	目標	320	320	320	320	320
	(指標の説明)		実績	260	0	0	0	0
3	健康相談件数(延べ)	件	目標	2500	2500	2500	2500	2500
	(指標の説明)		実績	5051	0	0	0	0

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	【問合せ先】健康づくり係 0857-20-3194
	【10次総の施策体系】1301
	【予算計上の経過】 なし
	【事業の概要】 健康増進法に基づき、健康教育・健康相談・訪問指導を行い、健康の増進に関する正しい知識の普及、心身の健康に関する個別の相談及び必要な助言・指導を行うことで、生活習慣病の予防及び介護を要する状態になることを予防し、健康づくりを支援する。
	【事業の成果】

	平成26年度	平成27年度	平成28年度
健康教育	270回	270回	260回
健康相談	184回	182回	128回
訪問指導	702回	731回	463回

【今後の課題・方向性】
今後も継続して健康教育、健康相談、訪問指導を実施し、適切な指導や支援を行うことにより、生活習慣病の予防及び介護を要する状態になることを予防し、健康づくりを支援する。

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	生活習慣病予防訪問指導延件数	58%				
	2	健康教育実施回数	81%	81%			
	3	健康相談件数(延べ)	202%				

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	健康増進法に基づいて実施した
事業の成果 <small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	生活習慣病予防、重症化予防のため、あらゆる機会を利用して健康意識の改善や行動変容を推進した。訪問指導において、不在やマンパワー不足などにより、実績値が減少となった。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>	<small>今後も継続して健康教育、健康相談、訪問指導を実施し、適切な指導や支援を行うことにより、生活習慣病の予防及び介護を要する状態になることを予防し、健康づくりを支援する。</small>	

事務事業評価シート

事務事業コード	007100	重点施策	まちづくり	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	保健所設置準備事業		所属名	健康子ども部 保健医療福祉連携課

1. 基本情報

位置づけ の 目標	体系区分	コード	名称	事業区分名称	区分	
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち	事業期間	平成27年度 ~ 全期	
	政策	03	住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり	根拠法令、 根拠計画等		
施策	1301	健康づくり、疾病予防の推進				
目標の 実施の 目標	目標の種別		平成28年度	平成32年度		
	胃・肺・大腸がん検診受診率		57%	50%	事業分類区分	内部管理
	子宮・乳がん検診受診率		57%	50%	運営方法	直営
	特定健康診査(国保)受診率		32.7%	60%	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	【中核市関連】保健所設置準備事業費		予算事業コード	01-04-01-01-28-01	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	中核市移行に伴い、保健所の設置準備を行う。
意図 (どのような状態 にするために)	総合的な保健衛生サービスの提供を図る。
手段 (どうするのか)	平成30年4月1日の開設を目標に、計画的に事業を実施する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 ①駅南庁舎整備基礎調査資料作成 ②保健所業務に係る訓練・研修・会議等への参加	平成29年度 ①保健所業務に係る訓練・研修・会議等への参加 ②衛生総合情報システムの開発	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
	年度別実績	①駅南庁舎整備基礎調査資料作成 ②保健所業務に係る訓練・研修・会議等への参加(45回、延べ279名の参加)						
	事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
事業費	事業費(A+B)		2,339	0	0	0	0	
	直接経費 A		2,339	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県		0	0	0	0	0
		地方債		0	0	0	0	0
		その他		0	0	0	0	0
一般財源		2,339	0	0	0	0		

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	保健所の設置	単位	件	区分	目標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
		実績			0	0	1	0	0			
		(指標の説明)	平成30年4月の開所をもって達成とする。									
	2	目標		0	0	0	0	0				
		実績		0	0	0	0	0				
		(指標の説明)										
	3	目標		0	0	0	0	0				
		実績		0	0	0	0	0				
		(指標の説明)										

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 連携係 0857-20-3914</p> <p>【10次総の施策体系】 1301</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P82（健004）</p> <p>【事業の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本市は、平成16年11月の合併を経て、平成17年10月に特例市へ移行し、さらに平成22年3月には「鳥取・因幡定住自立圏」を形成し、圏域が一体となった地域活力の創出に取り組んできた。 国会において中核市と特例市の制度統合（新中核市）及び新たな広域連携制度の創設（「地方中核拠点都市」等）が法制化され、中核市の人口要件緩和により、本市の中核市への移行が可能となった。 総合的な保健衛生サービスの提供を図るため、保健所の設置準備を行う。 <p>【事業の成果】</p> <p>平成26年度</p> <ul style="list-style-type: none"> 保健所準備室設置 保健所設置検討有識者委員会開催、「鳥取市保健所の在り方に関する提言」受領 <p>平成27年度</p> <ul style="list-style-type: none"> 保健所設置検討委員会開催、先進地視察 「鳥取市保健所設置基本構想」策定 県が実施する保健所業務に係る各種訓練及び研修会等への参加 <p>平成28年度</p> <ul style="list-style-type: none"> 駅南庁舎への保健所等の整備に向けた基礎資料作成 県が実施する保健所業務に係る各種訓練及び研修会等への参加 <p>【今後の課題・方向性】 保健所の設置に向け、引き続き事業を継続する。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	保健所の設置					
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p><small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
<p>事業の成果</p> <p><small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p><small>重点事業とし、平成30年4月1日の開設を目標に、計画的に事業を実施する。</small></p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	007200	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	健康診査事業		所属名	福祉部 保険年金課

1. 基本情報

位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	昭和58年度 ～ 全期
	政策	03	住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり		根拠法令、根拠計画等	
施策	1301	健康づくり、疾病予防の推進				
目標の	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	胃・肺・大腸がん検診受診率		57%	50%	運営方法	外部委託
	子宮・乳がん検診受診率		57%	50%	会計区分	一般会計
	特定健康診査(国保)受診率		32.7%	60%		
予算	予算事業名	健康診査費		予算事業コード	01-04-01-02-05-01	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	各種健診の対象となる市民
意図 (どのような状態にするために)	健康づくりや生活習慣病予防の必要性を認識し、健康の保持増進、疾病の早期発見のために必要な健診を受けるため
手段 (どうするのか)	健康づくりに関する啓発に努めるとともに、市民が受診しやすい健診受診体制の整備及び健診等に関する相談体制の充実を図る

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内容	年度別計画	①特定年齢の人に対する全がん無料クーポン券の配布 ②働く世代の女性特有のがん健診未受診者勧奨事業 ③未受診者へのコールリコール ④休日検診の拡充	①特定年齢の人に対する全がん無料クーポン券の配布 ②働く世代の女性特有のがん健診未受診者勧奨事業 ③未受診者へのコールリコール ④休日検診の拡充	①特定年齢の人に対する全がん無料クーポン券の配布 ②働く世代の女性特有のがん健診未受診者勧奨事業 ③未受診者へのコールリコール ④休日検診の拡充	①特定年齢の人に対する全がん無料クーポン券の配布 ②働く世代の女性特有のがん健診未受診者勧奨事業 ③未受診者へのコールリコール ④休日検診の拡充	①特定年齢の人に対する全がん無料クーポン券の配布 ②働く世代の女性特有のがん健診未受診者勧奨事業 ③未受診者へのコールリコール ④休日検診の拡充	
	年度別実績	①特定年齢に対する全がん無料クーポンを配布した ②30代節日年齢女性HPV・子宮頸がん検診を継続実施した ③未受診者への受診勧奨再通知 ④休日検診機会の拡充					
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	422,982	0	0	0	0	
	直接経費 A	422,982	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	12,820	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	43,587	0	0	0	0
一般財源	366,575	0	0	0	0		

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
活動指標	1	胃・肺・大腸がん検診受診率(40~69歳)	%	目標	50	50	50	50	50	
				実績	40.5	0	0	0	0	
	(指標の説明) 国のがん対策基本計画で示された受診率算定基準(対象者69歳以下)									
	2	子宮・乳がん検診受診率(子宮:20~69歳、乳:40~69歳)	%	目標	50	50	50	50	50	
				実績	57	0	0	0	0	
	(指標の説明) 国のがん対策基本計画で示された受診率算定基準(対象者69歳以下)									
3	がん検診精密検査受診率	%	目標	90	90.5	91	91.5	92		
			実績	89.4	0	0	0	0		
(指標の説明) 昨年度のがん検診において精密検査の対象となり、その後検査を受けた人の割合										

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 健診推進室 0857-20-0320</p> <p>【10次総の施策体系】 1301</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P83(福051) 12月補正予算・P78(福040)</p> <p>【事業の概要】 健康増進法に基づき各種健診を実施し、健康意識の高揚、生活習慣改善・疾病の早期発見・早期治療を図る。</p> <p>【事業の成果】 国基準受診率(69歳以下の受診率) * 子宮・乳は2年に1回の受診率</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成26年度</th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>胃がん</td> <td>36.5%</td> <td>39.5%</td> <td>38.9%</td> </tr> <tr> <td>肺がん</td> <td>37.7%</td> <td>40.7%</td> <td>40.4%</td> </tr> <tr> <td>大腸がん</td> <td>39.2%</td> <td>42.5%</td> <td>42.1%</td> </tr> <tr> <td>子宮がん</td> <td>50.5%</td> <td>55.3%</td> <td>56.4%</td> </tr> <tr> <td>乳がん</td> <td>48.9%</td> <td>55.8%</td> <td>57.8%</td> </tr> </tbody> </table> <p>【今後の課題・方向性】 国及び県は第2期がん対策推進計画を策定し、がん対策をより一層推進することとしており、本市においても、がんの早期発見にさらなる対策を強化する必要がある。 また、働く世代ががんに罹患し社会に与える影響が大きいことから、働く世代の受診率を向上させるための対策を重点的に推進する。</p>		平成26年度	平成27年度	平成28年度	胃がん	36.5%	39.5%	38.9%	肺がん	37.7%	40.7%	40.4%	大腸がん	39.2%	42.5%	42.1%	子宮がん	50.5%	55.3%	56.4%	乳がん	48.9%	55.8%	57.8%
		平成26年度	平成27年度	平成28年度																					
胃がん	36.5%	39.5%	38.9%																						
肺がん	37.7%	40.7%	40.4%																						
大腸がん	39.2%	42.5%	42.1%																						
子宮がん	50.5%	55.3%	56.4%																						
乳がん	48.9%	55.8%	57.8%																						

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	胃・肺・大腸がん検診受診率(40~69歳)	81%				
	2	子宮・乳がん検診受診率(子宮:20~69歳、乳:40~69歳)	114%	114%			
	3	がん検診精密検査受診率	99%				

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p><small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
<p>事業の成果</p> <p><small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	<p>国が「がん対策基本計画」において受診率の目標値を50%と高く定めており、本事業もこれに準拠して目標値を設定しているため、達成できた指標もあるが、胃・肺・大腸がんの受診率については達成が難しかった。</p>

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
		<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small></p>	<p>がん対策は、国・県を挙げて取り組んでいるところであり、今後も未受診者への勧奨に重点的に取り組むなど、受診率向上に努めていく。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	007300	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	A類疾病予防接種事業		所属名	健康子ども部 中央保健センター

1. 基本情報

位置づけ の 位置づけ	体系区分	コード	名称	事業区分名称	区分	
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち	事業期間	全期	
	政策	03	住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり	根拠法令、 根拠計画等	予防接種法	
施策	1301	健康づくり、疾病予防の推進				
目標の 実施の 目標	目標の種別		平成28年度	平成32年度		
	胃・肺・大腸がん検診受診率		57%	50%	事業分類区分	ソフト(義務)
	子宮・乳がん検診受診率		57%	50%	運営方法	外部委託
	特定健康診査(国保)受診率		32.7%	60%	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	A類疾病予防接種費		予算事業コード	01-04-01-04-01-07	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	乳幼児、学童、生徒等
意図 (どのような状態 にするために)	疾病予防を図る。
手段 (どうするか)	各種予防接種を実施する。 ・BCG…保健センターにおける集団接種 ・BCG以外…医療機関における個別接種

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内容	年度別計画	①BCG ②ポリオ ③3種混合 ④2種混合 ⑤4種混合 ⑥MR1期 ⑦MR2期 ⑧日本脳炎 ⑨ヒブワクチン ⑩小児用肺炎球菌 ⑪子宮頸がん ⑫水痘 ⑬B型肝炎	①BCG ②ポリオ ③2種混合 ④4種混合 ⑤MR1期 ⑥MR2期 ⑦日本脳炎 ⑧ヒブワクチン ⑨小児用肺炎球菌 ⑩子宮頸がん ⑪水痘 ⑫B型肝炎	①BCG ②ポリオ ③2種混合 ④4種混合 ⑤MR1期 ⑥MR2期 ⑦日本脳炎 ⑧ヒブワクチン ⑨小児用肺炎球菌 ⑩子宮頸がん ⑪水痘 ⑫B型肝炎			
	年度別実績	①BCG ②ポリオ ③3種混合 ④2種混合 ⑤4種混合 ⑥MR1期 ⑦MR2期 ⑧日本脳炎 ⑨ヒブワクチン ⑩小児用肺炎球菌 ⑪子宮頸がん ⑫水痘 ⑬B型肝炎 ※実施件数は事業概要 欄参照	①BCG ②ポリオ ③2種混合 ④4種混合 ⑤MR1期 ⑥MR2期 ⑦日本脳炎 ⑧ヒブワクチン ⑨小児用肺炎球菌 ⑩子宮頸がん ⑪水痘 ⑫B型肝炎 ※実施件数は事業概要 欄参照				
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	372,797	0	0	0	0	
	直接経費 A	372,797	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	372,797	0	0	0	0		

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
活動指標	1	麻疹、風疹予防接種(2期)の接種率	%	目標	95	95	95	95	95	
				実績	94	0	0	0	0	
	(指標の説明) 流行阻止に必要とされる接種率 95%									
	2				目標	0	0	0	0	0
					実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0	
				実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 予防係 0857-20-3191</p> <p>【10次総の施策体系】 1301</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P105 (健039)</p> <p>【事業の概要】 伝染のおそれがある疾病の発生及びまん延を予防するために予防接種を行い、公衆衛生の向上及び増進に寄与することを目的とする。</p> <p>【事業の成果】 平成26年度 385,695千円 (BCG1,601件、ポリオ844件、三種混合430件、二種混合1,279件、四種混合6,388件、MR1期1,620件、MR2期1,571件、日本脳炎6,410件、ヒブワクチン6,651件、小児用肺炎球菌6,555件、子宮頸がん88件、水痘3,256件) 平成27年度 358,732千円 (BCG1,629件、ポリオ188件、三種混合10件、二種混合1,196件、四種混合6,475件、MR1期1,576件、MR2期1,585件、日本脳炎5,686件、ヒブワクチン6,429件、小児用肺炎球菌6,462件、子宮頸がん49件、水痘3,332件) 平成28年度 368,150千円 (BCG1,552件、ポリオ98件、三種混合1件、二種混合1,236件、四種混合6,277件、MR1期1,588件、MR2期1,557件、日本脳炎5,991件、ヒブワクチン6,172件、小児用肺炎球菌6,207件、子宮頸がん38件、水痘2,901件、B型肝炎2,409件)</p> <p>【今後の課題・方向性】 予防接種法に基づき、適切に実施する。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	麻疹、風疹予防接種(2期)の接種率	99%				
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	予防接種法に基づき、適正に事業を実施した。28年10月から新規に導入されたB型肝炎予防接種についても、遺漏なく実施した。
事業の成果 <small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	麻疹風疹予防接種においては、概ね目標とした接種率を達成することができ、乳幼児期等における麻疹、風疹の発生はなかった。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合		<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了	
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>	<small>国の感染症予防対策の動向を見据えながら、予防接種法等に基づき適切に事業を実施する。平成28年10月よりB型肝炎が定期接種化されたため、今後事業拡大していく見通しである。</small>				

事務事業評価シート

事務事業コード	007400	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	B類疾病予防接種事業		所属名	健康こども部 中央保健センター

1. 基本情報

位置づけ の 位置づけ	体系区分	コード	名称	事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち	事業期間	全期
	政策	03	住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり	根拠法令、 根拠計画等	予防接種法及び予防接種法施行令
施策	1301	健康づくり、疾病予防の推進			
目標の 実施の 目標	目標の種類別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分 ソフト(義務) 運営方法 外部委託 会計区分 一般会計
	胃・肺・大腸がん検診受診率		57%	50%	
	子宮・乳がん検診受診率		57%	50%	
	特定健康診査(国保)受診率		32.7%	60%	
予算	予算事業名	B類疾病予防接種費		予算事業コード	01-04-01-04-01-08

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	インフルエンザ予防接種 (①65歳以上の方②60～64歳の方で心臓、腎臓、呼吸器等に一定の障害(1級)を有する人及び免疫機能が抑制される人③重症心身障がい者及び重症心身障がい児) 高齢者肺炎球菌感染症予防接種 (①65歳の方(経過措置あり)②60～64歳の方で心臓、腎臓、呼吸器等に一定の障害(1級)を有する人及び免疫機能が抑制される人)
意図 (どのような状態にするために)	インフルエンザ及び肺炎球菌感染症による疾病の重症化、感染の拡大の防止を図る。
手段 (どうするのか)	医療機関における個別接種

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内容	年度別計画	①インフルエンザ予防接種費用助成 ②肺炎球菌ワクチン接種費用助成	①インフルエンザ予防接種費用助成 ②肺炎球菌ワクチン接種費用助成	①インフルエンザ予防接種費用助成 ②肺炎球菌ワクチン接種費用助成	①インフルエンザ予防接種費用助成 ②肺炎球菌ワクチン接種費用助成	①インフルエンザ予防接種費用助成 ②肺炎球菌ワクチン接種費用助成	
	年度別実績	①インフルエンザ予防接種費用助成 ・助成人数 33,560人 ②肺炎球菌ワクチン接種費用助成 ・助成人数 5,426人					
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	150,254	0	0	0	0	
	直接経費 A	150,254	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	150,254	0	0	0	0		

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
活動指標	1	高齢者インフルエンザ接種率	%	目標	70	70	70	70	70
		(指標の説明)		実績	64	0	0	0	0
	2	高齢者肺炎球菌感染症接種率	%	目標	50	50	50	50	50
		(指標の説明)		実績	45.6	0	0	0	0
	3			目標	0	0	0	0	0
		(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 予防係 0857-20-3191</p> <p>【10次総の施策体系】 1301</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P105（健040）</p> <p>【事業の概要】 平成13年の予防接種法の改正により高齢者に対し定期接種としてインフルエンザ予防接種を開始した。平成26年の予防接種法施行令の改正により定期接種として高齢者肺炎球菌感染症予防接種を開始した。</p> <p>【事業の成果】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">決算額</th> <th colspan="2" style="text-align: center;">接種者数</th> </tr> <tr> <th></th> <th></th> <th style="text-align: center;">高齢者インフルエンザ</th> <th style="text-align: center;">高齢者肺炎球菌感染症</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成26年度</td> <td style="text-align: right;">149,126千円</td> <td style="text-align: right;">33,163人</td> <td style="text-align: right;">5,875人</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td style="text-align: right;">143,957千円</td> <td style="text-align: right;">33,019人</td> <td style="text-align: right;">4,974人</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td style="text-align: right;">145,514千円</td> <td style="text-align: right;">33,560人</td> <td style="text-align: right;">5,426人</td> </tr> </tbody> </table> <p>【今後の課題・方向性】 インフルエンザ、肺炎球菌感染症による疾病の重症化、感染の拡大を防止するために、継続して実施する。</p>		決算額	接種者数				高齢者インフルエンザ	高齢者肺炎球菌感染症	平成26年度	149,126千円	33,163人	5,875人	平成27年度	143,957千円	33,019人	4,974人	平成28年度	145,514千円	33,560人	5,426人
		決算額	接種者数																		
		高齢者インフルエンザ	高齢者肺炎球菌感染症																		
平成26年度	149,126千円	33,163人	5,875人																		
平成27年度	143,957千円	33,019人	4,974人																		
平成28年度	145,514千円	33,560人	5,426人																		

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	高齢者インフルエンザ接種率	91%				
	2	高齢者肺炎球菌感染症接種率	91%	91%			
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p><small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
<p>事業の成果</p> <p><small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	接種希望者数が少なかつたため。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
		<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント</p> <p><small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small></p>	<p><small>国の感染症予防対策の動向を見据えながら、インフルエンザ、肺炎球菌感染症の予防接種を実施する。</small></p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	007500	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	風しん予防接種費用助成事業		所属名	健康こども部 中央保健センター

1. 基本情報

位置づけ の 目標	体系区分	コード	名称	事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち	事業期間	平成25年度 ~ 全期
	政策	03	住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり	根拠法令、 根拠計画等	
施策	1301	健康づくり、疾病予防の推進			
目標の 実施の 目標	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分 ソフト(任意) 運営方法 直営 会計区分 一般会計
	胃・肺・大腸がん検診受診率		57%	50%	
	子宮・乳がん検診受診率		57%	50%	
	特定健康診査(国保)受診率		32.7%	60%	
予算	予算事業名	風しん予防接種費用助成事業費		予算事業コード	01-04-01-04-01-15

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	妊娠を予定・希望する19～50歳未満の女性のうち風しん抗体価検査の結果、抗体価が低かった者及び妊婦の夫
意図 (どのような状態にするために)	先天性風しん症候群の発生を防ぐ。
手段 (どうするのか)	風しんワクチンまたは麻しん風しん混合ワクチン接種費用を助成することにより、希望者が接種を受けやすい体制を整備する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内容	年度別計画	①大人の風しん予防接種について予防接種費の助成を行う。	①大人の風しん予防接種について予防接種費の助成を行う。	①大人の風しん予防接種について予防接種費の助成を行う。	①大人の風しん予防接種について予防接種費の助成を行う。	①大人の風しん予防接種について予防接種費の助成を行う。	
	年度別実績	①麻しん風しん混合ワクチン95人、風しん単独ワクチン52人					
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	1,249	0	0	0	0	
	直接経費 A	1,249	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	550	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	699	0	0	0	0		

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
活動指標	1	ワクチン接種を希望し、接種費用助成を受けた者の割合	%	目標	100	100	100	100	100	
				実績	100	0	0	0	0	
	(指標の説明) 対象者のうち希望する者にワクチン接種費用を助成し、効果的に先天性風しん症候群の発生を防ぐ。									
	2				目標	0	0	0	0	0
					実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0	
				実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 予防係 0857-20-3191</p> <p>【10次総の施策体系】 1301</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P106（健041）</p> <p>【事業の概要】 予防接種により、風しんのまん延及び先天性風しん症候群の発生を防ぐ。</p> <p>【事業の成果】 大人の風しん予防接種について予防接種費の助成を行った。</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>決算額</td> <td>助成人数</td> </tr> <tr> <td>平成26年度</td> <td>2,322千円</td> <td>271人</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td>1,295千円</td> <td>153人</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td>1,249千円</td> <td>147人</td> </tr> </table> <p>【今後の課題・方向性】 風しんの流行状況や先天性風しん症候群の発生状況などを確認しながら、事業の継続を検討する。</p>		決算額	助成人数	平成26年度	2,322千円	271人	平成27年度	1,295千円	153人	平成28年度	1,249千円	147人
		決算額	助成人数										
平成26年度	2,322千円	271人											
平成27年度	1,295千円	153人											
平成28年度	1,249千円	147人											

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	ワクチン接種を希望し、接種・費用助成を受けた者の割合	100%				
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p><small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	ワクチン接種費用助成を行うことにより、接種希望者が接種しやすい体制を整備し、先天性風しん症候群に対する不安を取り除き、併せて経済的負担を軽減することができた。
<p>事業の成果</p> <p><small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	平成28年度の本市における先天性風しん症候群の報告は0件であった。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント</p> <p><small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small></p>	<p><small>風しんの流行状況や先天性風しん症候群の発生状況などを確認しながら、事業の継続を検討する。</small></p>	